

☆全ての工場・学校・学団・地域に
安保闘争の、実行委員会をつくれ！
☆大衆行動委員会の中に暴力防衛隊を組織せよ！
☆基地包圍・街頭制圧・工場占拠・
学団占拠のゼネストで安保を叩き潰せよ！

前衛

第20号

☆安保ゼネストをプロレタリア日本革命の
突破口とせよ！
☆資本家政府打倒・米軍追放・沖縄人民解放・
労働者人民権力の樹立・労働者人民の武装！

毎週大塚日発行 千代田区飯田橋三・一・六
発行前衛編集委員会 飯田町ビル 前衛社
発行人杉村宗一 電264・5079 振東京44589

反政府実力闘争から権力闘争へ 新左翼運動の破産と革命的前衛党

十一月闘争はいかに総括されるべきか

一、蒲田ー羽田闘争の敗北

一〇・一一月闘争は、二〇〇名の捕りよせだすという蒲田ー羽田闘争のまんたんたる敗北をもって終りを告げた。
では、それはどのようなものとして敗北したのか。これに答えるためには、われわれは、何が一〇・一一月闘争に關わっていたかをふりかえつてみなければならぬ。

一、一月決戦は、まさに指したように、「前衛」一三三号、政府支配階級の側から企てられた決戦であった。
すなわち、かれらは、一月佐藤訪米、ニクソン・佐藤共同声明で安保・沖縄問題に決着をつけ、それを一二月国会解散・総選挙で国民に事後承認させ、それによつて、〇年代への長期体制を築けるとともに、同時にそれによつて社共既成指導部の反安保闘争を総選挙までついでカンパニイ闘争に追い込み、社共とのなれ合い選挙闘争によつて大衆反乱闘争を政治的に孤立させようとしたのであった。

したがつて、この一一月闘争で左翼反乱闘争に關わっていたのは、佐藤訪米に對し都市反乱闘争、都市人民

これらの組織暴力の威力を人民大衆にこれみよがしに誇示するため、一〇・一一、二〇〇名の捕り人間材料を供給したにとどまらなかつたのである。
そして、一昨年末から昨年年初にかけての蒲田、佐藤訪米、三子・成田闘争の段階ならぬと見せしめ、六九年ともなれば、こうした大衆玉砕シヨ一によつて反乱闘争への大衆の決起をうながしうる時代は、これら新左

そしてそれは、交通と大衆が密着して平時でもブルジョア秩序が半ば麻痺している新情のような都市密着点以外にはありえなかつたのである。また少数の党派軍団だけで機動隊に突撃するのではなく、きやくに機動隊を大衆の大海の中にひきずりこみ、かれらを大衆的に分断包圍し、撃破する以外にはなかつたのである。

そしてそれが、われわれのいう都市人民戦争にほかならなかつた。
だが、われわれの再三の警告にもかかわらず、一一月の主力部隊は、新左翼諸流にひきいられて羽田に向つた。
その結果は、最初から明白であつた。

それは、支配階級・國家権力が都市人民戦争にほかならなかつた。
だが、一六・一一七日全部に殺敵隊をひき、蒲田ー羽田で労働者学生反乱部隊の主力をうくたき、佐藤・ニクソン会談で安保再編を実現した日本の支配階級國家権力は、これを突撃口にして、アジア安保、本土沖繩化の實質化攻撃を労働者人民大衆に全面化してくるであらう。

二、一三三ー一五一ー一六の新宿反乱闘争の成果を突破口に

都市反乱。都市人民戦争にむけて前進せよ！

全国の革命的労働者学生諸君、五月以来新情解放、都市反乱闘争を遂行して闘いぬいてきた安保再編は、ついに一一月一六日、一万大衆の佐藤訪米粉砕、新宿東口伊勢丹通り闘争、都市反乱闘争を実現することに成功した。

これは、昨年一〇・一一の新情反乱闘争の水際を回復することができなかったとはいへ、蒲田ー羽田闘争の敗北に阻止めかけ、ふたたびまた大衆的都市反乱闘争、都市人民戦争への巨大な可能性をきりひらいたことを意味する。

このことは、本年四月の四・二八闘争に對してすでに明らかであつたにもかかわらず、新左翼諸派は、この四・二八の「中央権力闘争」の敗北をいまいちど大規模にくりかえすために全力をあげなければならなかつたのである。

この点は、新左翼諸派の大きな歴史的功績として評価されなければならぬ。
だが、熟知のように、日本の新左翼諸派は、また平和と民主主義闘争の限界内で、したがつて社共既成指導部のヘゲモニーのもとに關わつた六〇年安保のなかで、かれらの権制をのりこえた急進左派として我々が六〇年安保後の挫折を克服すべからず、社共既成指導部に対する、進歩的反対派としてのみならず、諸君してきた潮流であつた。

したが、熟知のように、日本の新左翼諸派は、また平和と民主主義闘争の限界内で、したがつて社共既成指導部のヘゲモニーのもとに關わつた六〇年安保のなかで、かれらの権制をのりこえた急進左派として我々が六〇年安保後の挫折を克服すべからず、社共既成指導部に対する、進歩的反対派としてのみならず、諸君してきた潮流であつた。

したが、かれらは、学生組織では日共・民青の主張する「平和と民主主義」「よりよき生活と学問」のための自治会運動、学生運動に對し激進的自治会運動、機動的な学生運動として対抗してきつてあり、また労働者組織では、総評民団の主導する日本労働組合連合会組合主義的経済闘争と議会主義的政治闘争との日本のロンビネーションに對し機動的組合運動、機動的な反乱運動として対抗してきつたのである。

そしてこうした新左翼諸派の学生運動・労働運動の政治的側面が街頭における実力政治闘争にはかならなかつた。

つまりかれらは、既成左翼の組合主義的・議会主義的な反政府闘争、

政策反対闘争に対し、街頭における
実力反対闘争、実力政策阻止ない
し抗議闘争として対抗してきたわけ
である。

新左翼派の諸君が「中央権力闘
争」、「政府中核攻撃闘争」、「佐
藤内閣打倒闘争」等々と呼
び、また地実力闘争と呼んでいる
ものは、じつは、こうした実力反政
府闘争、実力政策抗議闘争以外のな
にもでもない。

そしてこうした実力反政府闘争、
実力政策阻止闘争は、少くとも六八
年初頭までは、社共既成指導部の無
命令的、無意識的政治闘争の無
力性を暴露し、かれらから労働者
生大衆をきりはずすうえで巨大な役
割を演じてきた。

だが事態は六八年夏にはいると
もに根本的に変化した。

まず第一に、六八年三月のドル
金交換の事実上の停止、五月のフラ
ンク100万労働者の工場占拠
ストライキ、戦後帝國主義の世界危機
がいつにはじまったことを告げ知ら
せたからであり、また第二に、日大
・東大を基盤に全国的に拡大しはじ
めた学闘バリケード占拠闘争とそこ
から成長してきた全共闘運動は、日
本でも、工場占拠・学闘占拠闘争と
そのための大衆闘争委員会運動が歴
史の巨龍にのぼつたことを告げ知ら
せたからである。

こうした大衆的工場占拠・学闘占
拠闘争は、しかし、もはや通常の労
働組合・学生自治会レベルの闘争で
はなかつたし、またそれに対応する
反政府闘争でもなかつた。

それは、われわれがくりかえし強
調してきたように、たとえ占拠大衆
のかかっている要求スローガンがどのよ
うに部分的、改良的なものであれ、
その本質において、ブルジョア体制
そのものに対する根柢からの反乱で

あつた。

そしてこうした大衆的占拠闘争の
なから、そしてまたこれを鎮圧し
ようとする国家権力との闘争のなか
から成長してくる工場・学闘の闘争
委員会運動とそれの大衆的武装運動
こそ、ソヴェト運動であり、ブルジョ
ア国家権力に対抗する工場・学闘
における大衆自己権力の構想運動、
二重権力運動にはかならなかつた。

このことは、既成左翼の体制内的
な反政府闘争に対し実力反政府闘争
として対抗するだけではもはや不充
分となつたこと、いまや政治闘争の
主軸を反政府実力闘争から権力闘争
へとつぎをなければならないこと
をいみする。

そしてこうした反政府実力闘争か
らの権力闘争への移行は、これまで
の左翼的・階級的・階級的組合運動
・自治会運動から全共闘運動・労働
者・学生ソヴェト運動へと権力活
動の主軸を移さなければならなくな
つたことに対応する。

しかるに日本の新左翼諸派は、ま
きにもふれたように、社共既成指導
部の組合主義的・階級的的政治闘
争に対し実力政治闘争の急進左翼と
して成長してきた潮流にすぎなかつ
たのであつて、かれらのそれまでの
反政府実力闘争、政策阻止実力闘争
をより急進化する以外には、日本新
左翼のこうした革命的転換の要請
に答える方法を知らなかつた。

このことは、これら新左翼諸派が
日本階級闘争のより以上の発展にと
つてセクト的障壁物になりはじめた
ことを意味する。

くりかえし強調すれば、六八年春
の戦後帝國主義の世界危機の開始を
背景にする日本階級闘争に要請され
ていたものは、もはや実力反政府闘
争でも戦時的組合運動でも戦時的信
託運動・全学運動でもなく、ま
さにソヴェト運動であり、二重権力
の構想運動であり、それを従前から
促進し媒介するべきで都市反乱
運動であつたからである。

じつは、六八年後半以降、これ
ら新左翼諸派がなしたことはとい
えば、具体的現実的な大衆的学闘市
場闘争や職場反乱闘争に帝國主義的
再編反対と帝國主義大衆解放とか
反大学とかいつたような抽象的理論
をもとに、活動家大衆をそれぞれ

このことは、既成左翼の体制内的
な反政府闘争に対し実力反政府闘争
として対抗するだけではもはや不充
分となつたこと、いまや政治闘争の
主軸を反政府実力闘争から権力闘争
へとつぎをなければならないこと
をいみする。

だが、日本階級闘争の歴史時代
が終つたといふことは、その新しい
時代がはじまつたといふことにはか
たらない。

では、この新しい時代に要求され
ているものは何か。

その第一は、反政府実力闘争にし
がみつく急進左翼派のかわりに革
命的前進党を日本反乱戦線の公然た
る指導部として登場させることであ
る。

これなしには日本階級闘争は一歩
も前進しえないと断言している。

いまや、日本階級闘争に要求され
ているものは、もはや戦時的組合運
動や自治会運動を反政府実力闘争に換
約することではなく、学闘全共闘運
動や工場ソヴェト運動を二重権力運
動に換約し、それを進めてブルジョ
ア国家権力打倒の武装闘争の前提条

セクトの反政府実力闘争
争に連れだすために全力を尽くした
ことだけであつた。

そしてこうした反政府実力闘争の
段階を最初から告知せられたものこそ
本年春の四・二八闘争であり、それ
をふたたび大規模に再燃させたもの
こそ、一一・一六・一七の蒲田・羽
田闘争にはかならなかつた。

それは、まさにこのようなもの
として、近代工業プロレタリアートの
革命的権力闘争の原動力であり、基礎
であつた。

こうして、戦後帝國主義の世界危
機の端緒的開始を世界的背景として
六八年夏以降になると、ヨーロッパ
階級闘争につづいて、日本階級闘争
においても、革命的権力闘争が歴史
の巨龍にのぼつたのである。

全共闘運動の中核となる大衆的行動
委員会の構築を各学闘で精力的にお
し進め、その地域的結合をつくり
たさなければならぬ。

その第三は、職場反乱・工場突入
・工場占拠闘争の精力的な推進であ
る。

新左翼派の主導する反政府実力
闘争が破産したといふことは、日韓
闘争以来の反戦青年委員会が破産し
たといふことを意味する。

このことはまた、反戦青年委員会
の街頭政治闘争がいまや工場・職場
内に内化され、職場反乱運動・工場
突入・工場占拠闘争へと発展させら
れなければならないことを意味する。

日本では、これまで工場・職場占
拠闘争、バリケード闘争、突入闘争は
五として、中小企業分野でテリヤク的
・散発的に闘われてきたにすぎなか
つた。

だが、大阪中電の職場反乱を突破
点にして、いまやこうした職場反乱
運動は、ようやく政府・民間の大企
業に波及しようとしているのであつ
て、それを目的意識的に推進し、工
場ソヴェト運動へと発展させること
が全共闘の第一義的任務になつ
たといわなければならない。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

第四は、こうした工場・職場の反
乱行動委員会の地域共闘と、学闘全
共闘の地域共闘とのあいだのそのま
た地域共闘である。

これが、今日私たちを待っているこ
とのできる、そしてまた着手しなけ
ればならぬ「労働共闘」にはかなら
ない。

こうした「労働共闘」をとらして
われわれは、学闘反乱大衆の工場突
入闘争を精力的に組織しなければな
らない。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。

今日、学闘バリケードの再燃、
工場・職場占拠闘争の発展の最大の
障害となつているものは、国家権力
・警察隊のバリケード破壊、大衆運
動の無力感である。

だから、この障害をうち破り、学
闘・工場占拠闘争の発展をかちとる
ためには、国家権力・機動隊が大衆
反乱のまえには無力であることを暴
露し、活動家大衆をこの無力感から
解放しなければならぬのであつて、
それはくり返し強調すれば、新左翼
のような都市階級地域での都市反乱、
都市人民戦争以外にないのである。